

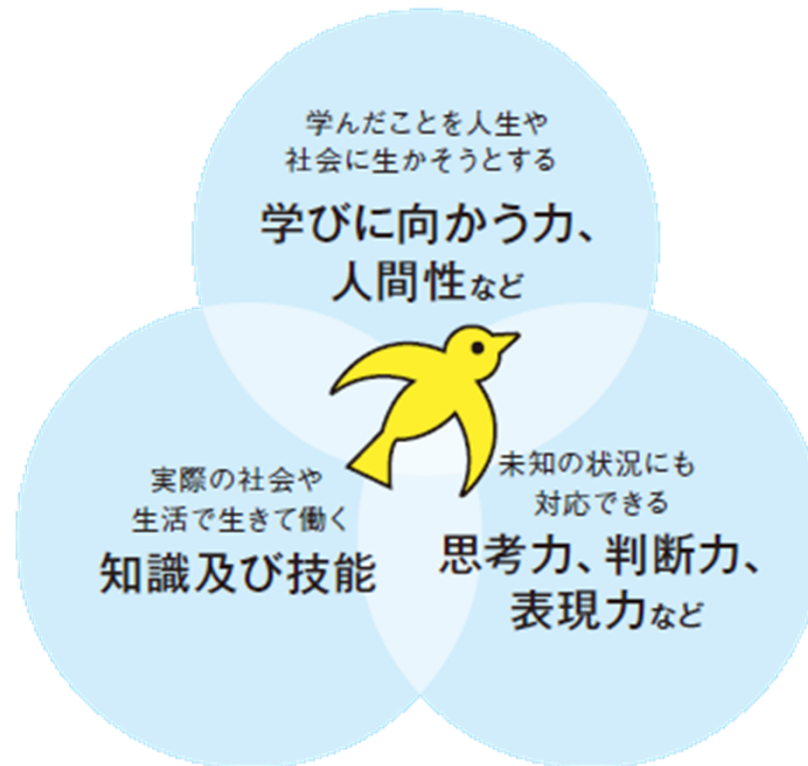
カリキュラム・マネジメント



新しい学習指導要領で目指すこと



新しい学習指導要領では、育成を目指す資質・能力を3つの柱で整理しました。



このような資質・能力を育成するため、各学校の教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントについて紹介します。



基本の考え方

基本の考え方



子供たちに「生きる力」を育む



基本となる考え方は、

よりよい学校教育がよりよい社会を創る

ということ

そのために、 **社会に開かれた教育課程**

の実現に向けた取組を構想する

基本の考え方



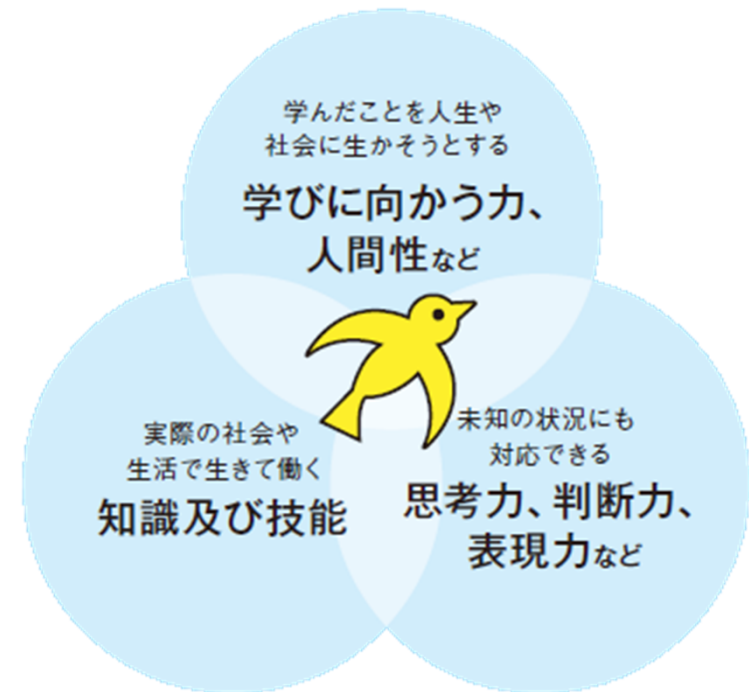
変化の激しいこれからの時代を見据えて、子供たちに必要な資質・能力をしっかりと身に付けることができるよう、学校の教育目標や目指す子供像などを**地域社会と共有**しながら連携・協働を進めることが大切です。



そのために、

学校の教育目標を実現するために、我が校の子供たちに必要な教育活動の内容や時間を考えた上で編成する、各学校の教育計画。

教育課程を軸に
学校の教育活動の質の向上を
図っていきます。



基本の考え方



ただし、ただ単に

時間をかけてたくさん授業をすればよい

お金をかけてたくさん教具教材をそろえればよい

というのではありません。



学校の教育資源（人、物、お金、情報、時間など）
をうまく活用し、地域社会の協力を得ながら、一緒
に子供の成長を支えることを目指します。



カリキュラム・マネジメントとは

「社会に開かれた教育課程」の理念の実現に向けて、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら、組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと

を示しています。



カリキュラム・マネジメントのもととなること

カリキュラム・マネジメントのもととなること



学校や地域の実態、特色を考える

地域の「環境」

- 山や川など豊かな自然に囲まれ、農業が盛んな土地
- 何百年も続いている伝統的な祭りがある地域
- 大きな駅があり高層マンションが密集する市街地



地域・家庭の「人」

- 保護者や地域の人々が、学校の美化や登下校の見守り等によく参加してくれる。
- 共働きの家庭が多い。

学校の「子供」

- 誰とでも仲良く遊び、休み時間には多くの子供が元気よく運動場で遊んでいる。
- 自分の考えを進んで言うことが出来ない子供もいる。



カリキュラム・マネジメントのもととなること



学校教育目標を達成するために、子供たちに身に付けさせたい力や目指す子供の姿を考える

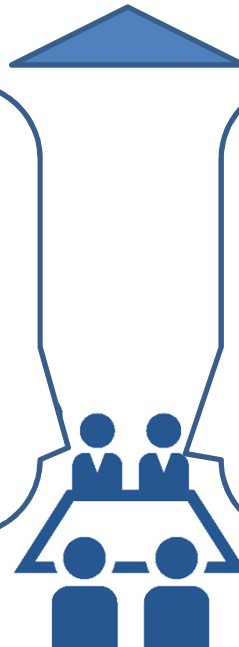
学校教育目標 「(例)かしこく ゆたかに たくましく」



自分の思いを自信をもって伝え合える子供を育てよう！

- 自分で考えて解決する力
- 相手の気持ちを考えて行動する力
- 思いを言葉で伝え合うことができる力
- 自分に自信をもって行動する力

- あいさつができる子供になってほしい
- ありがとうを言える子供になってほしい
- 夢に向かって努力できる子供になってほしい





カリキュラム・マネジメントの3つの側面

カリキュラム・マネジメントの3つの側面



教師が連携し、複数の教科等の
連携を図りながら授業をつくる

学校教育の効果を常に検証
して改善する

地域と連携し、よりよい
学校教育を目指す

カリキュラム・マネジメントの3つの側面



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



 自分の思いを自信をもって伝え合える子供を育てよう！



社会科で学習した地域の伝統や文化を、新しく学校に来たALTの先生に英語で伝えて、〇〇市のことをもっと好きになってもらおう。

社会で学習する地域の夏祭り。もっと子供たちの力を付けるために、その成果を発表する機会はないかな...



外国語活動で、新しく来たALTに伝えるという活動はどうでしょう。



“We can enjoy summer festival in 〇〇 City!”

“Sounds good!”

外国語活動



カリキュラム・マネジメントの3つの側面



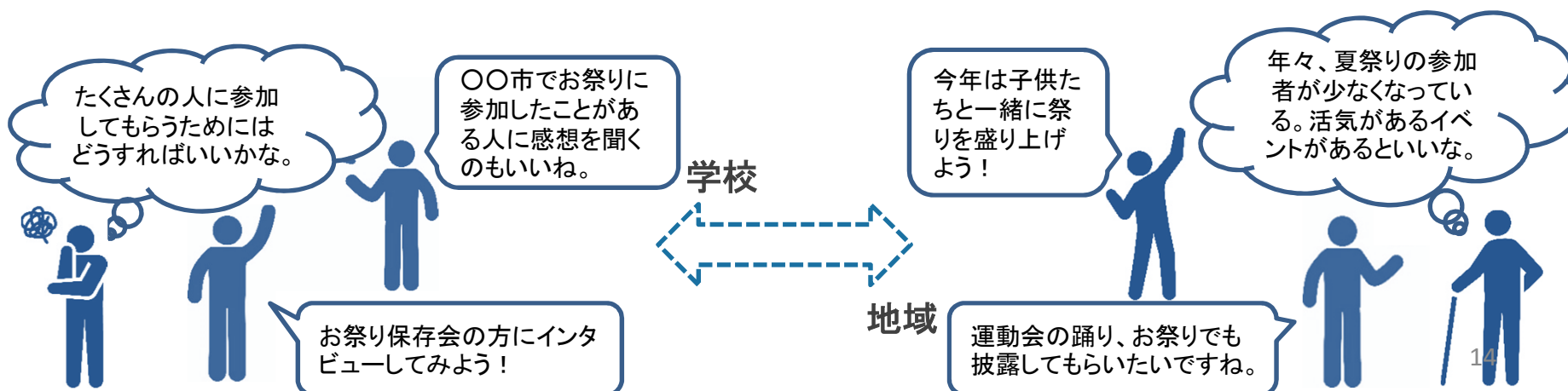
地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

 自分の思いを自信をもって伝え合える子供を育てよう！



「〇〇市元気いっぱいプロジェクト！」

地元の夏祭りを盛り上げるために、総合的な学習の時間を中心に自分たちにも出来ることを考えてみよう。



カリキュラム・マネジメントの3つの側面



学校教育の効果を常に検証して改善する

 自分の思いを自信をもって伝え合える子供を育てよう！



学校教育目標の達成につながるかどうか、常に確かめながら教育活動を行う

地域の伝統や文化について調べたことを、英語で生き生きとALTに伝えていました。

地域の方の話に真剣に耳を傾けていた姿も印象的です。



自信をもって話ができる子供が増えてきましたね。来年度は、自分の思いを伝えるだけでなく、相手の思いをしっかりと受け止めることが出来る子供を育てましょう。



大切にすること

大切にすること



各学校のカリキュラム・マネジメントを充実させることは、**新たな取組を追加することではありません。**



学校の様々な**業務の効率化**を図ることにより、カリキュラム・マネジメントの充実につなげていきます。

大切にすること



全教職員が持ち味を活かしなが^いら力を合わせ、
わが校の教育課程を
全教職員が語れる学校づくりを通して、



「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します
